MUSEUM NEWS

2021.10 ▶ 2021.11

美男におわす

とき・9/23(木・祝) ～ 11/3(水・祝)
※　会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:10/10(日)まで／後期:10/12(火)から
ところ・2階展示室
内容・日本の視覚文化のなかの「美男」のイメージをたどり、人々が理想の男性像に何を求めてきたかを探ります。麗しい歴史上のヒーロー、江戸の粋を体現する伊達男、挿絵やマンガのなかの妖しい美青年、現代作家がとらえた男性の身体など、時代やジャンルをまたいだ多様な男性像をめぐりながら、男性を美しいものとして表現すること／見ることに光を当てます。
観覧料・一般1200円(960円)、大高生960円(770円)
※　(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

大・タイガー立石展
世界を描きつくせ！

とき・11/16(火) ～ 1/16(日)
ところ・2階展示室
内容・美術家として出発し、漫画、イラストレーション、絵本へと活動の場を拡げ、文化のヒエラルキーを徹底的に解体していったタイガー立石(本名・立石紘一/1941～98)。見事な画力によって、イメージを大胆に引用・再編し、奇想天外な時空間の変容を描く作風は、世代を超えて今日の若いアーティストに刺激を与え続けています。うらわ美術館との2館同時開催となるこの展覧会では、最初期の60年代の活動、70年代のイタリアでの仕事、帰国後の制作を大規模に回顧し、その全貌に迫ります。
観覧料(埼玉県立近代美術館)・一般1100円(880円)、大高生880円(710円)
※　(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。
観覧料(うらわ美術館)・一般620円(490円)、大高生410円(320円)
※　(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下の方は無料。障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名を含む)は半額。
※　観覧済の有料観覧券のご提示により、「リピーター割引」として団体料金でご覧いただけます。(観覧日から1年以内、1名様、1回限り有効)
とら割 埼玉県立近代美術館またはうらわ美術館で「大・タイガー立石展」の「一般」もしくは「大高生」の観覧券を購入すると、2会場目の観覧料が200円割引になります。2会場目の観覧券購入の際に、1会場目で配布される「とら割券」をご提出ください。その他の割引との併用はできません。「とら割券」1枚につき、1名様のみ、1回限り有効です。

うらわ美術館
URAWA ART MUSEUM
所在地・さいたま市浦和区仲町2-5-1浦和センチュリーシティ3F　TEL・048-827-3215
開館時間・10:00 ～ 17:00(金・土曜日は20:00まで)(展示室への入場は閉館の30分前まで)
休館日・月曜日
交通・JR浦和駅西口から徒歩7分

MOMAS コレクション (収蔵品展)

2021年度 第2期
とき・7/17(土) ～ 10/17(日)　**ところ**・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※　(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。
◇セレクション
◇色彩と軌跡ージャコモ・バッラ《進行する線》を起点に

2021年度 第3期
とき・10/23(土) ～ 2/6(日)
※　会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:12/12(日)まで／後期:12/14(火)から
ところ・1階展示室
観覧料・2021年度第2期の観覧料と同一です。
※　11/14(日)は「県民の日」のため、MOMASコレクション観覧料が無料になります。
◇セレクション
◇特集:中野四郎
◇かぐわしき女性像

《関連イベント》
〇サンデー・トーク、ファミリー鑑賞会
10・11月の実施は未定です。実施する場合は、ホームページ等でお知らせします。

ミュージアム・レクチャー
近代日本画の材料と表現

とき・11/28(日) 14:00 ～ 15:30(開場は30分前)
ところ・2階講堂
内容・今年度から、展覧会鑑賞とは別の視点で美術を学ぶ場として、専門的なプログラム「ミュージアム・レクチャー」を開催します。今回は、荒井経氏を講師にお迎えし、日本画材や技法について、鏑木清方の《慶長風俗》など当館の収蔵品の話題も交えながらお話しいただきます。
講師・荒井経(日本画家・東京藝術大学大学院文化財保存学専攻保存修復日本画教授)
申込方法・電子メール(p2401113@pref.saitama.lg.jp)または電話(048-824-0110)にて、①お名前　②ご連絡先　③参加人数(2名まで)をお知らせください。
定員・30人(先着順)

アート体感ワークショップ
MOMAS のとびら

全プログラム事前予約制です。
当館ホームページからお申込みください。

《11月のプログラム》
11月分のお申込みを10/1(金)から受け付けます。
〇みる＋つくる
とき・11/6(土) 13:30 ～ 15:00
対象・小・中学生　**費用**・無料
〇もますまつり
とき・11/14(日) 10:30 ～ 12:00／14:00 ～ 15:30
対象・どなたでも　**費用**・無料
※　県民の日に行うフリープログラム拡大版です。いくつかのプログラムを時間制で数回ずつ実施する予定です。
〇み～っけ！
とき・11/20(土) 13:30 ～ 15:00
対象・未就学児(4～6歳)＋保護者　**費用**・無料

《12月のプログラム》
12月分のお申込みを11/1(月)から受け付けます。
〇み～っけ！
とき・12/4(土) 13:30 ～ 15:00
対象・未就学児(4～6歳)＋保護者　**費用**・無料
〇みる＋つくる
とき・12/11(土) 13:30 ～ 15:00
対象・小・中学生　**費用**・無料
〇フリープログラム
とき・12/18(土) 13:30 ～ 15:00
対象・どなたでも　**費用**・無料
※　開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち１日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合は、抽選とさせていただきます。ご了承ください。

「MOMASのとびら」のページ
https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら

一般展示室 (地階)

※　日程・内容は変更される場合があります。当館ホームページで最新内容をお知らせしています。
※　展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆10/5(火)～10/10(日)
第54回第一美術協会埼玉支部展……一般展示室1
第54回埼玉三軌展……一般展示室2・3
第34回渓水会作品展……一般展示室4
◆10/12(火)～10/17(日)
公募ＺＥＮ展……一般展示室1
第20回美術協会純展・埼玉支部展……一般展示室2
◆10/19(火)～10/24(日)
第29回工芸新樹会公募展……一般展示室2
写真展〔福島にて/車椅子の旅〕……一般展示室3
全日本写真連盟浦和支部写真展……一般展示室4
◆10/26(火)～10/31(日)
第42回太平洋埼玉展……一般展示室1
第25回西遊会美術展……一般展示室4
◆11/3(水・祝)～11/14(日)
2021ＣＡＦネビュラ展……一般展示室1～4
◆11/17(水)～11/21(日)
第64回埼玉県高校美術展……一般展示室1～4
◆11/25(木)～11/28(日)
第60回埼玉県高等学校書道展覧会……一般展示室1～4
◆11/30(火)～12/5(日)
武蔵野美術大学卒業生会東京埼玉支部本展……一般展示室1
第３回水彩ROMAN展……一般展示室2・3
青山久子展……一般展示室4

MOMASコレクション第3期
かぐわしき女性像

多くの日本画家が手掛けた主題のひとつに女性像があります。女性を主題とした作品は、正倉院の《鳥毛立女屏風》に代表される樹下美人図や近世の浮世絵など、さまざまな作品が思い浮かびますが、近代に描かれた女性像は「美人画」と称され、ひとつのジャンルとして人気を博しました。展覧会に数多く出品された美人画は、男性女性を問わず多くの人から注目を集めたために、かえって、低俗なものと非難されることもありました。画家は単なる大衆の娯楽的イメージから脱すべく、定型化された女性像でもなく、見たままの姿でもない女性の美しさを描くことに苦心します。そして、古画の主題や色調表現、西洋絵画の写実的表現や構図などを取り入れながら、個性ある風貌や内面性が表出した姿など、女性像を多様に展開させていきました。

MOMASコレクション第3期(前期:10/23～12/12)では、美人画の大家として知られる鏑木清方ほか、清方の系列に並ぶ画家の作品を中心にご紹介します。
《慶長風俗》(1926年頃)は、被衣姿で佇む女性としゃがみこんで水面へ手を伸ばす女性の、色彩と姿勢の対照の妙が印象的な作品です。衣装のデザインや人物表現には、浮世絵や風俗画など近世絵画全般への画家の深い関心が表れています。清方は、女性を描くことについて以下のように述べています。
「女が絵の対象に持って来られる場合とても、花鳥、山水が持って来られる場合でも、作家が美を感得して画心をそこに見出す心もちには、何の高下も差別もある筈はないのである。
作家の画心が、花を描くべきか、水に托さんか、女を藉りて表現すべきか、それが想念の坩堝に入れられて、形を成す時、花ともなれば女ともなる。」(鏑木清方「緑蔭絵事を語る」『銀砂子』1934年)
清方は、歴史や物語に登場する女性、日常を営む市井の女性などさまざまな女性の姿を描いていますが、それは単に女性美の追求にとどまらないものだったと言えます。

清方門下の傍流に位置する画家に、埼玉ゆかりの日本画家、細田竹が挙げられます。細田は埼玉女子師範学校を卒業後、小学校教師として働く傍ら、清方門下で清新な美人画を得意とした柿内青葉に学び、美人画を制作しました。全国女流美術展覧会や埼玉県美術展覧会(県展)に出品を重ね、1958年の第1回埼玉県アンデパンダン展では、参観者の人気投票で日本画部の一位となるなど、地道に活動を続けた画家です。また、学校教育における日本画教育の推進にも教師として尽力しました。今回の展示では、《あかり》(1933年)をご紹介します。夏の夕方、提灯にあかりを灯す女性の姿を屏風に仕立てた作品です。朝顔柄の着物をまとった女性が楚々とした風情で俯き、手元に意識を向けています。気取りのない表情は、鑑賞する側も同じ部屋にいるかのような親密な雰囲気を醸しています。本作は、女性の若々しく清らかな容姿のみならず、むしろ、穏やかでとりとめのない日常の美しさを感じさせます。

このコーナーでは、女性像を通して、画家それぞれの追求した理想美や時代性について注目しながら鑑賞していただければ幸いです。(K.M.)

鏑木清方《慶長風俗》1926年頃（前期展示）© Akio Nemoto

ミュージアム・ショップおすすめ商品

2022カレンダーのご紹介です。
月ごとに変わる国々、風景やデザインで一年かけて世界を巡る「World Travel Calendar」。
「ついたち」「ふつか」「みっか」と子供には難しい読み方も入って人気の「こどもカレンダー」オリジナルシール付きです。お子さんとイベントをマークすれば、新年を迎えるのが楽しみになります。

World Travel Calendar　¥2,970円(税込)
こどもカレンダー　¥1,980円(税込)

編集後記

うらわ美術館と当館の２館同時開催で大・タイガー立石展が始まります！
来年はとら年。縁起の良いこの展覧会を、「とら割」を活用して、是非、両会場でご堪能ください。(H.I.)

千葉、青森、高松と巡回してきた大・タイガー立石展も埼玉が最終会場です。本展をご覧いただく最後の機会ですので、お見逃しなく！(M.H.)

※　**本紙記載の展覧会やイベントは、新型コロナウイルス感染拡散防止のため、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。**

埼玉県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Saitama
所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111　**FAX**・048-824-0119　**代表メール**・p240111@pref.saitama.lg.jp
URL・https://pref.spec.ed.jp/momas/
開館時間・10:00～17:30 (展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日　**入館料**・無料　**観覧料**・上記をご覧ください。
交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。
ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。
©埼玉県2005

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・平野到・真中博行　**原稿執筆**・滝口明子 (うらわ美術館学芸員) / (H.I.) 平野到 / (K.M.) 菊地真央 / (M.H.) 真中博行　**広報協力**・JR 東日本大宮支社